

事業番号	15 05 02	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援学校体制整備事業	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課	

1 現状と課題

- ・県立特別支援学校は、施設・設備の老朽化や児童生徒数の増加に伴う狭隘化が進んでおり、計画的な環境整備が必要。
 - ・児童生徒一人ひとりの生活上・学習上の困難を改善・克服する上で有効なICT活用に関する取組を推進してきたが、最適な支援ツールの効果的な活用に向けた体制整備と教員の支援力向上が必要。

2 事業目的

老朽化や狭隘化が進む特別支援学校について、長期的な視点に立った改築等を推進するとともに、施設・設備の計画的な修繕・改修及び設備の充実等により、これからの学びに相応しい教育環境の整備を推進する。

3 事業目的を達成するための取組

①特別支援学校の環境を改善するための施設等整備

- ・老朽化・狭隘化する特別支援学校について、建物の状況、児童生徒数の将来推計、地域の教育環境等を踏まえ、新しい学びを実現するための計画的な改築等を推進する。
 - ・特別支援学校の施設・設備の老朽化や不具合等に対して、中長期修繕・改修計画に基づき、実態の詳細な把握に基づく、計画的な修繕・改修を行う。

②特別支援学校の運営のための環境整備

- ・通学保障を行う上で必要なスクールバスのニーズに応じた配置・運行を行う。
 - ・【新】県立特別支援学校小学部・中学部すべての児童生徒の給食及び給食以外の昼食にかかる費用の完全無償化を実施する。

③ICT活用による支援充実に向けた環境整備

- ・ICT活用による学習環境の充実のため、一人一台端末の整備・更新を進めるとともに、特別支援学校内のネットワーク環境の整備を図る。
 - ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を推進するため、先進的なICTとAT（アシティブ・テクノロジー）を活用した支援の拠点を整備する。

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし -: 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	見込	推移			
①	計画に位置付けた修繕・改修の各年度における実施率	%	17.2	↗	21.1	↗	21.6	↗	23.8	△	中長期修繕・改修計画において、令和3年度からの10か年で185箇所を整備することが長期目標であり、R8年度は23.8%を目標とする。
③	個別の指導計画に個のニーズに応じたICT活用が位置付けられている児童生徒の割合	%	77	↗	84	↗	90	↗	95	△	第3次長野県特別支援教育推進計画でR9年度目標を100%と設定したため、4年度目であるR8年度は95%を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案	5,214,060		5,214,060	4,232,677		4.5
	要求	5,324,201		5,324,201	2,129,580		
R7年度		448,260	2,769,084	139,944	3,357,288	1,950,655	4.5
R6年度		890,979	2,069,819	358,606	3,319,404	1,809,329	2,731,777
要求からの 主な変更点		•学校給食費負担軽減事業費の新設による増額 •特別支援学校の施設整備において、整備箇所や内容等を考慮しつつ事業費を減額 •通学バス・公用車整備事業において、緊急性等を考慮し、一部を令和7年度1月補正で予算化したことによる減額					

事業番号	15 05 02	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	特別支援学校体制整備事業	部局	教育委員会事務局 課・室 特別支援教育課

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	特別支援学校整備事業	1,532,026 千円	2,076,627 千円	予算案 4,233,393 要求 4,320,709 千円
No.	細事業を構成する主な取組			
1	松本・若槻養護学校施設整備事業	直接	松本養護学校・若槻養護学校の施設整備 ・松本養護学校は体育館、寄宿舎等の建設工事を継続して実施する他、既存校舎の解体・改修を実施 ・若槻養護学校は新校舎の建設工事等を実施	
2	特別支援学校教室増設事業	直接	・児童生徒数の増加による校舎の狭隘化に対して教室等の増築工事を行う。 整備学校数 1校	
3	特別支援学校施設計画整備事業	直接	・中長期修繕・改修計画等で計画されている改修工事等について計画的に実施する。 ・整備箇所数 18箇所 ・特別支援学校のLED化に係る調査・設計を実施	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	特別支援学校運営事業	335,203 千円	368,854 千円	予算案 595,283 要求 604,893 千円
No.	細事業を構成する主な取組			
1	通学バス・公用車整備事業	直接	・経年劣化したスクールバスの更新、児童生徒数の増加に伴う通学生の増加に対応するためのスクールバス増便を行う。 スクールバス増便 9台	
2	学校給食費負担軽減事業	直接	【新】県立特別支援学校小学部・中学部すべての児童生徒の給食及び給食以外の昼食にかかる費用の完全無償化を実施 実施学校数 18校	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	特別支援教育推進指導事業	202,590 千円	323,603 千円	予算案 385,384 要求 398,599 千円
No.	細事業を構成する主な取組			
1	学校管理運営事業費	直接	・タブレット端末等ICT活用教育の推進、環境整備、遠隔教育の推進 ・ICT機器の設定や操作研修等を実施するGIGAスクールサポーターを派遣 ・障がい特性に応じたICT機器・ATの活用を促進 ICT・ATリソースの活用支援拠点を利用する特別支援学校数 18校	